

## 第4学年3組 社会科 学習指導案

単元名：そのとき海田の歴史が動いた！

「地いきのはってんにつくした人々」

男 15名 女子 13名 計 28名

指導者 本谷 綾子

### 単元について

#### ○単元観

本単元は、小学校学習指導要領解説社会編第4学年「内容(5)」の「地域の人々の生活について、次のことを見学、調査したり年表にまとめたりして調べ、人々の生活の変化や人々の願い、地域の人々の生活の向上に尽くした先人の働きや苦心を考えるようにする。」の「ウ 地域の発展に尽くした先人の具体的事例」を受けて設定したものである。

本単元では、地域の人々の生活の向上に尽くした先人の働きや苦心を考える手がかりとして、自分たちが住んでいる地域の発展に尽くした先人の具体的事例を調べる。海田町を代表する先人は3名いる。海田町がかつて海であった利点を生かし、海田の海苔を広めた国光百次郎、海を埋め立てた土地であったため、米がうまく育たず、米の代わりになる養蚕業を広めた斎木貞次郎、綿花の栽培や海田ブドウなど米の代わりになる様々な農業にチャレンジした三宅惣次郎である。3人の先人について、児童が資料の読み取りや地域の方からの聞き取りを通して、主体的に調べることで当時の人々の願いをかなえるために行動した先人たちの功績がすばらしいものだったということ、その働きによって地域の人々の暮らしが向上したことを学び、自分たちの住む地域に誇りや愛情をもつことができると考えられる。さらに、昨年度の総合的な学習の時間「ふしぎ発見！海田町～海田東小学校区ガイドツアー」の地域の文化財や海田町の発展に貢献した先人についての学習を想起したり、副読本「かいた」やふるさと館の見学、インタビューで集めた資料から、先人の働きや苦勞したことなどを読み取ったり、まとめたりする力も高められる単元と考えられる。

#### ○児童観

本学級の児童は、1学期に「安芸クリーンセンター」と「蟹原浄水場」に見学に行き、自分たちの地域のごみが人々の協力の上に適切に処理されていることや瀬野川を流れる水が浄水場で人の手によってきれいにされ、自分の家の水道にきていることを学び、自分たちの暮らしと地域の関わりは大きいことを知り、自分たちが地域のためにできることを考えてきている。

本学級の児童を対象に、レディネステストでは、与えられた資料から必要な情報を集めて読み取る問題の正答率が79%であった。複数ある情報の中から必要な情報を選び、比較したり関連付けたりしながら考えることに課題がある。また、社会的事象に対して自分たちにできることを表現する問題では、正答率が32%であった。誤答を分析してみると、単語のみで答えていたり、漠然としたイメージのみを書き表していたりするだけで、自分で考えたことをもとに具体を示した文章で書き表すことができていない。このことから、学習した内容や資料から読み取った事実を理解し、自分の意見や考えを深めたり広げたりしながら、表現する力に課題があるといえる。

#### ○指導観

課題の設定では、教科書に掲載されている和歌山県の浜口梧陵についての学習から入る。困難を乗り越えながら津波を防ぐための堤防を作り、村の人々の命を救った人物だと理解させた後、3年時の総合的な学習の時間の「ふしぎ発見！海田町～海田東小学校区ガイドツアー」での学習を振り返り、学習の中で名前が出てきた人物を想起させる。実は浜口梧陵のように海田町のために働いてくれてい

た人物だったのではないかと詳しく調べてみたいという願いをもたせ、自分たちの生活と大きな関わりのある海田町の発展について主体的に学ぼうとする意欲を高める。

まず、教材文を活用し浜口梧陵について情報の収集を行う。集めた情報を活用し5つの観点で人物についての紹介カードを作成させる。「先人の願い」「先人の働き」「苦労したこと」「地域の人々の暮らしの変化」の4つの観点で情報を集めることを明確に示し、複数ある情報の中から必要な情報を集めることができるようにしたい。そして、グループで互いの情報を比較させ、学習課題の解決のために必要な情報かどうかを考えながら、整理させる。紹介カード作成の際には、4つの観点については、前時までにまとめた情報から必要な事柄を取り出し、まとめられるようにしたい。5つ目は「調べて感じたこと」という観点を示し、取り出した情報と自分の考えを関連付けて内容をまとめられるようにしたい。その際、基となる情報を根拠として取り上げながらまとめられるようにさせる。

次に、副読本「かいた」に取り上げられている海田町の先人のうちの一人を選び、紹介カードを作成させる。作成にあたっては、浜口梧陵のカード作成の際のポイントを基に、4つの観点をもって、ふるさと館や地域の方からの聞き取りにより情報の収集を行わせる。海田町の先人の紹介カードを作成するときは、浜口梧陵の紹介カード作成時の留意点などを掲示し、児童が確認しながら紹介カードを書けるようにする。同じ紹介カードを作成したグループで内容を読み合わせ、内容や意味を話し合うことで担当の先人についての理解を深めさせ、違う先人を担当した人が一人ずついる新しいグループに組み替え、内容を説明し合うジグソー学習を行わせる。自分の言葉で自分の考えが伝わるように説明させることで、自分の理解状況の確認をさせると同時に、他の先人の説明を聞くことで自分の担当した先人との関連を考えさせ、先人たちの共通点を探すという視点を与えることで更に理解を深めさせるようにする。

### 単元の目標及び内容について

- 地域の発展に尽くした先人の働きに関心を持ち、進んで調べたり、地域社会のよりよい発展を考えたりしようとする。 【社会的事象への関心・意欲・態度】
- 人々の生活の変化や願い、地域の人々の生活の向上に尽くした先人の働きや苦心について思考・判断したことを適切に表現することができる。 【社会的な思考・判断・表現】
- 副読本やふるさと館の見学、インタビューで集めた資料を効果的に活用し、先人の働きや苦労したことなどを読み取ったり、まとめたりすることができる。 【観察・資料活用 of 技能】
- 地域の人々の生活の変化や願い、地域や人々の生活の向上に尽くした先人の働きや苦心を理解することができる。 【社会的な事象についての知識・理解】

## 単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	観察・資料の活用の技能	社会的事象についての 知識・理解
地域の人々の生活の歴史的な背景や地域社会の発展を願ってきた人々の生き方に関心を持ち、意欲的に調べようとしている。	人々の生活の変化や願い、地域の人々の生活の向上に尽くした先人の働きや苦心について思考・判断したことを適切に表現している。	副読本やふるさと館の見学、インタビューで集めた資料を効果的に活用し、先人の働きや苦労したことなどを読み取ったり、まとめたりしている。	地域の人々の生活の変化や向上が、人々の願い、努力や先人の働き、苦心によるものであることを理解している。

## 単元で育成したい資質・能力

	A	B
<b>【主体性】</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題の解決のために必要な情報は何かを考えながら、地域の発展に尽くした人々の働きや苦心について関心を持ち、進んで調べようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の発展に尽くした人々の働きや苦心について関心を持ち、進んで調べようとしている。</li> </ul>
<b>【思考力】</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>整理した情報を関連付け、先人たちに共通する願いに気付いている。</li> <li>これからの生活で自分たちにできることを考え表現しながら集めた情報や展示物の写真などを効果的に活用して学習したことを分かりやすくまとめている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>整理した情報を関連付ける中で、先人たちの願いに気付いている。</li> <li>集めた情報や展示物の写真などを効果的に活用して学習したことを分かりやすくまとめている。</li> </ul>
<b>【自己理解】</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>先人たちの生き方に触れることを通して、地域への愛着をより深め、自分たちにできることを考え、これからの生活に生かしていこうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>先人たちの生き方に触れることを通して、地域への愛着をより深めている。</li> </ul>

## 指導と評価の計画

全 16 時間

次	時	学習内容	評 価					
			関	思	観	知	評価規準	評価方法
一	1	<b>課題の設定（2）</b> ○教科書の浜口梧陵についての本文を読み、自分たちの地域には浜口梧陵のような人はいるのか関心をもち、学習課題を設定する。 ・3年生の総合的な学習の時間に行ったガイドツアーのために調べたことを思い出し、どのような人物がいたのか話し合う。 ・地域の移り変わりの影には、人の力があつたことに気づき、海田町にはどんな人がいたのか知りたいという意欲を高め、調べたことをまとめて紹介する「紹介コーナー」を作るという学習課題を設定する。	○				・地域の発展に尽くした人々の働きに関心をもち、海田町には浜口梧陵のような人はいたのか考えようとしている。	行動観察 発言
	2	○学習の見通しを立てる。 ・ゴールの見通しをもち、学習計画を立て、単元で付けたい力について考える。	○				・「紹介コーナー」を作ることに関心をもち、学習の内容や付けたい力について考えようとしている。	発言 ワークシート
二	3 ・ 4	<b>情報の収集・整理・分析Ⅰ（3）</b> ○浜口梧陵さんについて教科書を使って調べる。 ・「先人の願い」「先人の働き」「苦労したこと」「地域の人の暮らしの変化」「調べて感じたこと」の5つの観点で調べることを知る。 ・教科書から紹介カードを書くために必要な情報を収集する。				○	・広村の人々の生活の向上が浜口梧陵の働きや苦心によるものであると理解している。	ワークシート 行動観察
	5	○浜口梧陵さんについて調べたことを紹介カードにまとめる。 ・浜口梧陵さんについて紹介カードに5つの観点でまとめる。		○			・浜口梧陵の働きや苦心によって広村の人々の生活が向上したことを適切に表現している。	カード
三	6	<b>情報の収集・整理・分析Ⅱ（8）</b> ○副読本「かいた」で3人の海田町の先人について調べる。 ・海田の海苔を広めた国光百次郎さん、米造りの工夫をした三宅惣次郎さん、安芸もめん作りを広めた齋木貞次郎さんたちについて、副読本「かいた」で情報を集める。				○	・海田町の先人の働きや苦心などを、副読本から読み取っている。	ワークシート
	7 ・ 8	○ふるさと館で3人の先人についての学習をする。 ・館内の展示パネルを見たり、西国街道海田市ガイドの会の方の話を聞いたりする。				○	・ふるさと館の展示パネルやガイドの方の話から、先人の働きや苦心などの観点に沿って必要な情報を集めている。	行動観察 ワークシート

次	時	学習内容	評価					
			関	思	観	知	評価規準	評価方法
三	9	○広島海苔の方から国光百次郎さんについての話を聞く。 ・広島海苔の広報の方に学校に来ていただいて、国光百次郎さんについての話を聞く。			○		・先人の働きや苦心など、聞いたことから必要な情報を集めている。	行動観察 ワークシート
	10 ・ 11	○先人たちの願いや働きについて調べたり、感じたりしたことをまとめるために、ジグゾー学習（1 国光百次郎さん 2 三宅惣次郎さん 3 斎木貞次郎）を用いて3人の先人たちについて集めた情報を整理し、共有する。 ・自分が選んだ先人について、集めた情報を整理し、5つの観点で紹介カードにまとめる。 ・同じ先人をまとめたグループで、まとめた内容を確認する。		○			・集めた情報を効果的に活用し、先人の働きや苦心したことなどを読み取り、紹介カードにまとめている。	行動観察 カード
	12	○3人の先人について整理した情報をジグゾー学習で交流し合い、共通する願いを考える。 ・整理した情報を3人のグループに分かれ、それぞれの先人の願いや努力、苦心してきたこと等の情報を共有し合い共通する願いについて考える。 <b>【本時】</b>		○			・人々の生活の変化や願い、地域の人々の生活の向上に尽くした先人の働きや苦心について学習したことから、先人の願いを考え、表現している。	カード 発言
	13	○先人たちの働きが、現在の自分たちの生活とどのようなつながりがあるのか考える。 ・先人の働きや苦心によって地域の人々の生活が向上したことが、現在の自分たちの豊かな生活につながっていることを昔の暮らしと今の暮らしを比べることで気付く。				○	・自分たちの豊かな暮らしは先人たちの願い、働き、苦心の上に成り立っていることを理解している。	発言 ワークシート
四	14 ・ 15	<b>まとめ・創造・表現（2）</b> ○学習でわかったことを「紹介コーナー」にまとめる。 ・地域の発展に尽くした人々について調べることを通して、海田町がどのように発展してきたかを振り返り、これからの生活で自分たちにできることを考える。 ・作成に向けて必要な物や分担を考え、準備の計画を立てる。 ・計画を基に、必要な物を準備する。		○			・人々の生活の変化や願い、地域の人々の生活の向上に尽くした戦時の働きや苦心について思考・判断したことを表現している。	行動観察 発言
	16	<b>振り返り（1）</b> <b>学びのモニタリング</b> ○自らの学びや学び方を振り返る。 ・先人たちの生き方に触れることを通して、地域への愛着を深め、自己の見方や考え方の高まりに気付く。 ・自らの学びを振り返る。		○			・学習以前と比較し、自己の見方や考え方が高まりに気づき、地域への愛着をより深めている。	ワークシート

## 本時の学習

### (1) 本時の目標

- 3人の先人の願いや働き、苦心などから、地域の発展に貢献してきた人々の思いを考えることができる。

### (2) 本時の評価規準

- 人々の生活の変化や願い、地域の人々の生活の向上に尽くした先人の働きや苦心について学習したことから、先人の思いを考えている。 【社会的な思考・判断・表現】

### (3) 本時の学習展開 (12時間目/全16時間)

学習活動 ○主な発問 ・予想される児童の反応 □思考の場の工夫	◇指導上の留意事項 ★めざす児童の姿 ◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て	評価規準〔観点〕 (評価方法) ◎本時で付けたい力
1 前時までの学習を振り返る。  2 本時の学習課題を確認する。  めあて _____ 先人の働きや苦心などから、3人の先人の思いについて考えよう。	◇前時に行った、3人の先人たちについて5つの観点でまとめたことを確認する。(先人の願い、働き、苦心、地域の人々の暮らしの変化、調べて感じたこと)	
<div style="background-color: black; color: white; padding: 2px; text-align: center;">本時のゴールの見通し</div> <p>A：整理した情報を関連付け、先人たちに共通する地域への思いに気付いている。</p> <p>B：整理した情報を関連付ける中で、それぞれの先人たちの地域への思いに気付いている。</p>		
3 同じ先人を調べたグループで先人の思いを共有する。 ○自分の考えた思いを伝え合い、グループで思いについての考えをまとめましょう。  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;">             □思考の場の工夫 <b>関連付ける</b>              5つの観点に関連させながら、先人の思いを整理する。           </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国光さんは、瀬野川の栄養たっぷり入った海苔を食べて、食べた人に栄養をつけて欲しかったんだと思う。</li> <li>・斎木さんは、米よりもお金になる作物の絹糸の作り方を海田の人たちに教えて、海田の人たちの生活を楽にしたかったんだと思う。</li> <li>・三宅さんは、農機具や牛馬を使った農業の仕方を海田の人たちに教えることで、海田の人たちが農業をやりやすくしたんだと思う。</li> </ul>	◇同じ先人を調べたグループで、自分で考えた先人の思いについて共有し、グループで1つにまとめさせる。 ◆先人がその働きをする以前と以後の海田町の様子を比較して考えるよう助言する。	

<p>学習活動</p> <p>○主な発問</p> <p>・予想される児童の反応</p> <p>□思考の場の工夫</p>	<p>◇指導上の留意事項</p> <p>★めざす児童の姿</p> <p>◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て</p>	<p>評価規準〔観点〕</p> <p>(評価方法)</p> <p>◎本時で付けたい力</p>
<p>4 3人グループで、先人の思いを伝え合う。</p> <p>○3人グループになって、自分が考えた先人の思いを伝えましょう。</p> <p>5 先人の思いについて全体で共有し、3人の思いに共通することを考える。</p> <p>○海田町の人たちの暮らしはどうなりましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道具や牛を使うようになって、農業がやりやすくなった。</li> <li>・お米だけじゃなくて、綿やブドウ、蚕のまゆを売ることによって、たくさんお金が稼げて、生活が楽になった。</li> <li>・のり工場ができたことで働く場所ができて、生活が安定した。</li> <li>・海田町の人たちは、三宅さんたちのおかげで、くらしやすくなったんだと思う。</li> </ul> <p>6 本時の学習のまとめをする</p>	<p>◇先人をまとめた3人グループになって、思いを共有させる。</p> <p>◇それぞれの先人の思いを発表させ、板書に整理する。</p> <p>◇働きの内容が異なっても先人たちの地域に対する共通の思いにより、海田町がどう変わったのか考えさせる。</p> <p>◇3人の先人たちの思いを関連付け、共通点を整理することで、いずれの先人も海田町の人々の生活を向上させたいという共通の願いをもって活動していたことに気付かせる。</p> <p>◆3人の先人が海田町をどう思っていたのか考えるよう助言する。</p>	<p>◎人々の生活の変化や願い、地域の人々の生活の向上に尽くした先人の働きや苦心について学習したことから、先人の願いを考え、表現している。〔社会的な思考・判断・表現〕(発言・カード)</p>
<p>★めざす児童の姿</p> <p>私は、この3人は自分のためだけではなく、海田町の人々の生活をよくするためにいろいろな苦勞をしてくれたのだとわかりました。自分がやろうと思ったことを信じて、つらいことがあっても諦めずに努力してくれたのおかげで、今の海田町があるんだと思います。</p>		

(4) 板書計画

めあて

先人の働きや苦心などから、3人の先人の思いについて考えよう。

(本時のゴール)

- A 先人の思いを交流し合い、3人の思いを考えている。
- B それぞれの先人の思いを考えている。

先人たちが働く以前の海田町の様子

- ・海を埋め立てた土地で作物がうまく育たない

	国光さん	三宅さん	斎木さん
願	おいしい海苔	道具・牛馬	より多くの収入
い	多くの人に	楽な農作業	新しい作物。
働	瀬野川の栄養	勉強・試作	私財を使う
き	海苔の開発	周りに教える	養蚕を広めた。
苦	牡蠣の栄養	新しい作物	農業に弱い
心	開発に苦労	土地の改良。	桑栽培に苦労
変	工場。	農作業が楽に	繭を売った収入
化	働く場所	収穫量増。	生活の安定

○海田町の人たちのくらしは怎么样了か

- ・道具や牛などで、農業がやりやすくなった。
- ・綿やブドウ、かいこのまゆを売ることによってたくさんお金がかせげて、生活が楽になった。
- ・のり工場ができたことで働く場所がふえて、生活が安定した。

海田町の人たちは三宅さんたちのおかげで、くらしやすくなった。

<国光さんの思い>

瀬野川の恵みの海苔を食べてもらいたい。

<三宅さんの思い>

これまでよりも楽な農業をみんなができるように。

<斎木さんの思い>

高く売れるまゆを作って、海田の人の生活を安定させたい。

3人とも、自分のためだけではなく、海田町の人たちのくらしをもっとよくしたいという思いをもっていろいろな働きや苦労してくれた。

<参考>「学びのモニタリング」

**学びのモニタリング**

そのとき海田の歴史が動いた！  
「地いきのはってんにつくした人々」

主体性・・・**チャレンジする力**

「海田が自慢できる人紹介コーナー」を作成するために、海田町をはってんさせた人々について考えることができた。

思考力・・・**深く考える力**

「海田が自慢できる人紹介カード」の作成のために、必要な情報を関連付けて、自分の考えを深めることができた。

自己理解・・・**自分のよさや成長に気付く力**

海田町の自慢できる人を学習することを通して、これからの生活の中で自分が海田町の人のためにできることを考えることができた。

これまでの社会科の学習と様子と比べながら、学習をふり返ろう